

校長の話

校長 上村 哲也

今日は、2つのことについて話します。

1つ目、「愛と平和の鐘」についてです。（鐘の音を聞いて）

写真を見てください。二枚の写真は関係があります。上の写真は空高く広がる雲のように見えます。これは普通の雲ではありません。飛行機から落とされた、たった一つの爆弾によってできたきのこ雲です。雲の高さは16kmもあるそうです。



今から75年前の

1945年、日本は戦争をしていました。その最中の8月6日に、世界で初めて広島に「原子爆弾」が落とされました。

爆弾は地上600mの上空で爆発し、地面の温度は3000～4000度に達したといわれています。12月末までに約14万人が死亡したとされています。下の写真は、町の様子です。すべての物が崩れ去っています。



（広島市ホームページより）

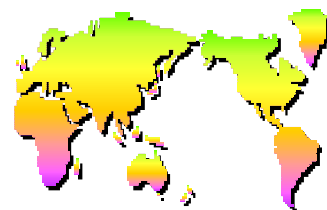
広島に住んでいたある人の話で

す。『「洗濯でもしなくちゃ」と空を見た瞬間でした。ものすごい光が目の前を走りました。ガラガラと家が崩れ、4歳下の妹ががれきに埋もれていました。両親の声はしませんでした。きっと爆弾だ。壁に穴を開けて外に出ると、広島市内は見渡す限り家が一軒もなくなっていました。』

原子爆弾は、核兵器といわれる物の一つで、ものすごいエネルギーを利用して、多くの建物を壊し、沢山の人を傷つけたり殺したりするためにつくられた兵器です。私たちが住む日本は、核兵器を持ちませんが、世界では9つの国が9000個以上の核兵器を持っています。

館林市は、1988年、「非核平和都市宣言」を出し、市内の小中学校に「愛と平和の鐘」を立てました。この鐘は、核兵器を無くすことを願った館林市民の

皆さんの願いをこめて建てられたシンボルです。
普段なかなか鳴らすことがない鐘ですが、今日は、
こんな意味があることを知ってほしくて話をしました。
みなさんには、やがては世界の平和に貢献できる
大人になってほしいと思います。



2つ目は、「事故から身を守る」話しです。

上の写真を見てください。自転車に乗っている女の子がいます。左側には歩道を歩いている男の人が見えます。右側には走ってくる自動車と歩道には自転車の前輪が見えます。実は女の子はこの後、事故に遭ってしまいます。



今度は、下の写真をご覧ください。手前の白っぽい服を着た人が主人公です。青信号で横断歩道を手前から向こう側に向かって歩いています。向こう側からは歩行者と自転車がやってきます。右側には向かってくる自動車も見えます。実は、この後、主人公の女の子も事故に遭ってしまいます。



さて、ここで問題です。上の写真の自転車に乗っている女の子と、下の写真の女の子はどのような事故に遭ったのでしょうか。何かとぶつかります。

(警視庁ホームページより)

30秒ほどよーよーく考えてください。

いくつかの事故が頭に浮かびましたか？ 事故を防ぐには、今のように、起こりそうな事故を予測することが大切です。「事故には遭わないだろう」と考えずに、「事故に遭うかもしれない」と考えて、危険を見つけようとするのが大切です。学校でもそれは同じです。廊下を走っている子を見かけることがあります。教室から誰かが飛び出してくるかもしれません。流しのところが濡れていて滑るかも知れません。そう考えたら、走ることの危うさに気づくことができます。実際、一小でも多くの事故が発生しています。保健室前に事故マップが掲示してあります。時々見てくださいね。

また、市内では、つい最近、中学生が自転車に乗っていて自動車とぶつかるという大きな交通事故に遭ってしまいました。

さて、最後に問題の答えを言います。自転車に乗っている女の子は、一時停止をせずに歩道を右側に進もうとして、右側から来た自転車と衝突したそうです。下の写真の女の子は、写真にはないのですが、後ろからやって来て左に曲がろうとした自動車に衝突されたそうです。自動車の運転手さんが考え事をしていて歩行者を見落としていたそうです。青信号といえども危険が潜んでいるんですね。これで「事故から身を守る」話は終わりです。



1学期の終業式の時、「新型コロナウイルス感染症と正しく向き合い、新しい生活様式がしっかり身につくように努力し、楽しい夏休みを過ごしてください。」と、話しました。夏休み中、大きな事故やけが、病気をすることなく、健康で生活を送り、そして、今日、こうして元気に登校できたこと、すばらしいことであり、とてもうれしく思います。

さて、今日から2学期が始まりました。学校生活の中では、一つの大きな「節目」(ふしめ)となる日です。節目とは、物事における「区切りとなる大切なところ」を意味します。節目である今の新鮮な気持ちを大切に、これからの話を聞いてください。※



今年の2学期のスタートは、これまでと少し違うところがあります。1学期の通知表が、今日、担任の先生から渡されます。通知表には、みなさんの学習の様子、先生方がとらえたよさやもう少し頑張ってもらいたい事などが記してあります。

まずは、今日、通知表をしっかりと見て、自分をよく知り、2学期のめあてづくりに役立ててほしいと思います。

今日から始まる2学期は、一番長い学期です。学校へ登校する日が84日あります。1学期は、とても急ぎ足での学習となりましたが、2学期は、自分の考えをしっかりと持ち、友だちと意見を交わし合い、学び合う学習が多くなります。その中で、「できた喜びやがんばった満足感」をたくさん味わってほしいと思います。

また、運動会、校外学習や修学旅行、書道展や美術展など、たくさんの大きな行事が予定されています。今から楽しみにしている人もたくさんいることでしょう。色々な活動を行う中で、友だちと協力したり譲り合ったりしながら「みんなで力を合わせる楽しさ」を十分に感じてほしいと思います。

そのためには、自分から進んで参加することが大切になります。思い切ってチャレンジし、もっている力をどんどん伸ばしてほしいと思います。わたしたち職員も、そのようなみなさんの成長を楽しみにしています。



※「節目」という言葉は、もともとは「材木の節があるところ」の意味ですが、「区切りとなる大切なところ」をたとえる言葉としても使われるようになりました。「節」は樹木が成長していく中で、元々あった枝が木の中に巻き込まれることで生まれます。